

第38課：形式名詞 の

第38課學形式名詞 の。這個 の 不是第2課「大的那個」的代用 の，也不是第22課連接名詞或修飾名詞的 の。今課的重點是把前面的動作、情況或一整句內容，變成句子中的一個「名詞位置」。

學會這個 の 之後，就可以說「做某事很有趣」、「我喜歡做某事」、「忘記做某事」、「某件事的時間是幾點」。先把 の 前面的內容當作一整件事，再看後面接 は、が、を，句子就會清楚很多。

■ 今課目標

- 用 普通形+の 把動作或內容名詞化，放進句子中。
- 用 ～のは～です 把整件事做主題，說明評價、時間、地點或原因。
- 用 ～のが～です 表達喜好、能力感受、擅長與不擅長。
- 用 ～のを～ます 表達忘記、知道、看見、聽見等動作的對象。
- 掌握 な形容詞和名詞接 の 前通常要用 な，例如 静かなの、学生なの。
- 分清本課名詞化 の、第18課 こと、第22課名詞修飾，避免只看到 の 就當成同一種用法。

■ 今課的核心

第38課的 の 是形式名詞。它本身沒有很實在的意思，作用是把前面的動作或內容變成一個可以放在 は、が、を 前面的名詞單位。學習時先問：の 前面是不是一整件事？の 後面在句中做甚麼角色？這樣比只背中文『的』安全。

三個入口先分工

句型	主要功能	例句
～のは～です	把整件事做主題，再說明評價、時間等	朝早く起きる <u>の</u> は大変です。
～のが～です	把整件事做焦點，接喜好、擅長、不擅長等	私は地図を見る <u>の</u> が好きです。
～のを～ます	把整件事做動作的對象	宿題を出す <u>の</u> を忘れました。

一、普通形+の：把一整件事變成名詞位置

■ の 前面要像一個普通形內容

形式名詞 の 前面通常用普通形。動詞可以用原形、ない形、た形、なかった。い形容詞直接接 の。な形容詞和名詞現在肯定通常要接 な，再接 の。這一點和第22課名詞修飾很接近，但今課的 の 後面會接 は、が、を，讓整件事進入句子。

■ 形式規則

普通形+の 的接續

前面類型	普通形內容	接 の	檢查位
動詞原形	日本語を話す	日本語を話すの	動詞普通形直接接 の
動詞ない形	授業に遅れない	授業に遅れないの	ない形直接接 の
動詞た形	写真を撮った	写真を撮ったの	た形也可以接 の
い形容詞	この部屋が明るい	この部屋が明るい	い形容詞直接接 の
な形容詞	教室が静か	教室が静かな	要加 な
名詞	今日は休み	今日は休みな	要加 な

先把 の 前面的內容寫成普通形，再接 の。な形容詞和名詞現在肯定不要直接接 の，要用 な。

■ 例句

- 朝の電車で新聞しんぶんを読むのは難しいです。
→ 在早上的電車裡讀報紙很難。読むの 把讀報紙這件事名詞化。
- 授業の前に漢字を復習するのはいい習慣です。
→ 上課前溫習漢字是好習慣。整個動作變成句子的主題。
- この教室が静かなのは、試験があるからです。
→ 這間課室很安靜，是因為有考試。静か 要用 静かなの。
- 今日は学校が休みなのを知りませんでした。
→ 我不知道今天學校放假。休み 是名詞，接 の 前用 な。

■ 練習

一、把提示改成 普通形+の。留意な形容詞和名詞現在肯定要加 な。

- ① 日本語を話す → _____
- ② 授業に遅れない → _____
- ③ 昨日、写真を撮った → _____
- ④ この店は安い → _____
- ⑤ 教室が静か → _____
- ⑥ 今日は休み → _____

二、～のは～です：把整件事做主題

■ 講這件事是怎樣的

～のは～です 把 の 前面的整件事提出來做主題，再在後面說評價、感受、時間、地點、原因或對應內容。中文常會說『做某事是……』。重點不是某一個名詞，而是整個動作或情況。

～のは 後面常見內容

後面內容	焦點	例句
形容詞	評價或感受	毎日作文を書く <u>のは</u> 大変です。
時間	某件事發生或開始的時間	試験が始まる <u>のは</u> 九時です。
地點	某件事發生的地點	発表をする <u>のは</u> 二階の教室です。
理由	說明為甚麼會這樣	道が込んでいる <u>のは</u> 雨だからです。

■ 例句

1. 新しい単語^{たんご}を毎日覚えるのは大変ですが、役に立ちます。
→ 每天記新單字很辛苦，但有用。のは 提出整件事做主題。
2. 図書館が閉まるのは午後七時です。
→ 圖書館關門的時間是晚上七點。後面說時間。
3. みんなで練習するのは三階の教室です。
→ 大家一起練習的地方是三樓課室。後面說地點。
4. 駅の前がにぎやかなのは、週末だからです。
→ 車站前很熱鬧，是因為週末。にぎやか 是な形容詞，要用 にぎやかなのは。

■ 練習

二、用 ～のは～です 完成句子。先把前面的內容名詞化，再接 は。

- ① 每天早起很難：每朝早く起きる → _____
- ② 考試開始的時間是九點：試験が始まる、九時 →

- ③ 發表的地方是二樓禮堂：発表をする、二階のホール →

- ④ 這間店很有名，是因為咖啡好喝：この店が有名、コーヒーがおいしいから →

三、～のが～です：喜歡、擅長、感受的焦點

■ 把喜歡或擅長的事情說出來

～のが～です 常用在 好きです、嫌いですが、上手です、下手です、早いです、遅いです 等句子。が 前面的 の 把整件事變成焦點，後面再說喜歡、不喜歡、擅長、不擅長或速度感受。第9課學過 Nが好きです，今課可以把 N 換成一整件事。

名詞焦點和動作焦點

已學過	今課擴展	焦點
音楽が好きです	歌を歌うのが好きです	喜歡一個動作
スポーツが上手です	ボールを投げるのが上手です	擅長一件事

■ 例句

1. 私は小さいノートに予定を書くのが好きです。

→ 我喜歡在小筆記簿寫行程。喜歡的是整個動作。

2. 妹は人の前で話すのが苦手です。

→ 妹妹不擅長在人前說話。苦手です 前也可用 のが。

3. 林さんは地図^{ちず}を読むのが上手です。

→ 林同學很擅長看地圖。

4. 私は朝早く準備するのが遅いです。

→ 我早上準備得很慢。這裡說做準備這件事慢。

■ 練習

三、用 ～のが～です 寫句子。後面可用 好きです、苦手です、上手です、下手です、早いです、遅いです。

① 喜歡做料理：料理を作る → _____

② 不擅長在人前說話：人の前で話す → _____

③ 擅長看地圖：地図を読む → _____

④ 寫漢字很慢：漢字を書く → _____

⑤ 討厭早上跑步：朝に走る → _____

四、～のを～ます：把整件事做動作對象

■ 忘記、知道、看見、聽見的內容

～のを～ます 把 の 前面的整件事放到 を 前面，當成後面動詞的對象。常見動詞包括 忘れます、知っています、見ます、聞きます、手伝います。中文常是『忘記做某事』、『知道某件事』、『看見某人做某事』。

～のを 後面常見動詞

後面動詞	用法	例句
忘れます	忘記做某事	プリントを持って来る <u>のを</u> 忘れました。

後面動詞	用法	例句
知っています	知道某個情況	明日は学校が休みな <u>の</u> 知っていますか。
見ます	看見某人做某事	弟が台所を掃除している <u>の</u> 見ました。
聞きます	聽見某件事	先生が名前を呼ぶ <u>の</u> 聞きました。

■ 例句

- 宿題をかばんに入れるのを忘れました。
→ 我忘了把功課放進書包。忘記的對象是整個動作。
- 今日の会議が三時に始まるのを知りませんでした。
→ 我不知道今天的會議三點開始。始まるのを 把開始這件事變成知道的對象。
- 昨日、弟が一人で晩ご飯を作るのを見ました。
→ 昨天我看見弟弟一個人做晚飯。
- 駅で誰かが私の名前を呼ぶのを聞きました。
→ 我在車站聽見有人叫我的名字。

■ 練習

四、用 ～のを～ます 完成句子。留意 の 前面的內容要用普通形。

- 忘記帶課本來：教科書を持って来る、忘れました →

- 不知道今天沒有課：今日は授業がない、知りませんでした →

- 看見朋友在圖書館溫習：友だちが図書館で復習している、見ました →

- 聽見老師叫自己的名字：先生が私の名前を呼ぶ、聞きました →

五、の、こと、名詞修飾怎樣分

■ 不要只看到の就當成同一種

第18課的 こと 和今課的 の 都可以把動作名詞化，但用法不完全一樣。趣味、夢、目標等較抽象或像項目的說明，常見 こと。今課的 の 較常把眼前、具體、感受或已知的事情放進 は、が、を。第22課的名詞修飾則是把短句放在名詞前，例如 昨日買った本，後面真的有一個名詞，不是用 の 代替整件事。

三種相近結構快速分辨

形式	任務	例子	檢查問題
Vこと	把動作當成較抽象的事情或項目	趣味は写真を撮ることで す	是否像興趣、目標、規則等項目？
普通形+の	把眼前或具體內容放進句中	写真を撮るのが好きです	後面是否接 は、が、を 等助詞？
普通形+名詞	修飾後面的名詞	昨日撮った写真	後面是否真的有名詞？

■ 常見錯誤

- **×** 日本語を話すは楽しいです。
○ **日本語を話すのは楽しいです。**
動作不能直接接 は。先用 の 把整件事名詞化。
- **×** 静かのが好きです。
○ **静かなのが好きです。**
な形容詞現在肯定接 の 前要用 な。
- **×** 今日は休みのを知らませんでした。
○ **今日は休みなのを知らませんでした。**
名詞現在肯定接 の 前要用 な。
- **×** 昨日見たの映画
○ **昨日見た映画**
第22課名詞修飾時，動詞普通形直接放在名詞前，不加 の。
- **×** 宿題を出すことを忘れました。想說忘記交功課這件具體事
○ **宿題を出すのを忘れました。**
具體忘記某個動作用 のを忘れました 較自然。

■ 練習

五、選擇 の、こと 或直接修飾名詞，完成句子。先看句子任務。

- ① 趣味は日本語の歌を歌う（ ）です。
- ② 日本語の歌を歌う（ ）が好きです。
- ③ 昨日歌った（ ）をもう一度聞きました。後面名詞是 歌。
- ④ 朝早く起きる（ ）は大変です。
- ⑤ 友だちが作った（ ）を食べました。後面名詞是 ケーキ。
- ⑥ 宿題を出す（ ）を忘れました。

■ 練習

自己輸出：寫六句。兩句用 のは，兩句用 のが，兩句用 のを。每句圈出 の 前面的內容，再在 の 後面寫上 は、が 或 を。

- ① のは，評價或時間：_____
- ② のは，原因或地點：_____
- ③ のが，喜好：_____
- ④ のが，擅長或不擅長：_____
- ⑤ のを，忘記或知道：_____
- ⑥ のを，看見或聽見：_____

整理：畫三欄，分別寫 のは、のが、のを 的功能、常見後面詞語和自己的例句。最後用一句中文說明本課的 の 和第22課名詞修飾有甚麼不同。
